競技・ハンディキャップ委員会議事録

競技・ハンディキャップ委員長　　岡田　孝之

日　時：令和6年12月15日　14：30～16：00

①　　2024年　競技当番表について報告

→別紙参照

②　　5大競技に関しての競技成立人数について

→吉田副委員長より5大競技（クラブ選手権・スクラッチ選手権・理事長杯・シニア選手権・グランドシニア選手権）に関しては現在の競技規則にある競技成立人数16名を下回っても開催するべきではないかとの意見を受けた。

【◎決定事項】

2025年より5大競技（クラブ選手権・スクラッチ選手権・理事長杯・シニア選手権・グランドシニア選手権）の競技成立人数を12名とする。

③　　グランドシニア選手権について

→前回継続審議となっていたシニア選手権・グランドシニア選手権の参加条件の年齢の引き下げの件について

【◎決定事項】

他クラブでの状況を確認した結果、現在の本千葉カントリーと同じ参加条件であるクラブが大多数であった為、参加条件の年齢は従来通りシニア選手権は 60 歳以上、グランドシニア選手権は70歳以上とする。

④　　シニア選手権マッチプレー化について

→古賀委員よりシニア選手権を 1 日目は 18 ホールストロークプレー、予選通過者 16 名とし、2 日目にマッチプレーでの 1・2 回戦、3 日目にマッチプレーでの準決勝・決勝を行うのはどうかとの提案を受けた。

■⇒古賀委員からの提案を受け、事務局側から以下の案を提出した。

●一日目：18ホールストロークプレー　予選通過者16名。

●二日目：【一回戦　**（セルフ）】**
・キャディを8名揃えることが困難なためセルフプレーとする。
・トップスタート（東コーススタート：4 組　西コーススタート：4 組）を 6：30 スタートとする。ハーフプレーを例年のクラブ選手権では 1 時間 30 分以内で回れているので、一般のお客様の予約枠を8：30からとし、折り返し後の9ホールも一般のお客様がいない状況を作る。（パスの必要がなくなるのでセルフプレーでも問題ない）

【二回戦　**（キャディ付き）】**
・例年のクラブ選手権同様、対戦相手が決定した 30 分後に二回戦目をスタートする。東コースと西コースの一般のお客様に割り込んでスタートしていく。キャディ付きなのでパスも行う。

●三日目：【準決勝・決勝　**（キャディ付き）】**
・準決勝と決勝を同日で行う場合、一回戦と同様6：30分スタートとする。
※四日間で競技を行う事も可能（決勝を月例杯と同日に行う）

また事務局側でどの程度マッチプレー化を希望する声があるのか過去3年間シニア選手権に参加されたプレイヤーから意見を聞き、事務局内で話をまとめ委員長に報告をする。

⑤　理事長杯参加資格について
→古賀委員より理事長杯の参加資格について、月例競技他だけでなく研修会も競技参加としてカウントしてみてはどうかとの意見を受けた。
■⇒研修会は競技参加としてカウントしないものとする。
従来通り前年の理事長杯から当年の理事長杯までの間で正確なハンデを算出する為に3回以上の競技に参加をしなければならないとする。

⑥　競技スタート時集合時間について
→髙梨委員より競技の際、スタート時間間際になっても集合しないプレイヤーがいる為、ドロー表に『スタート時間 5 分前までに、指定のティイングエリアにて待機する事。』という注意書きを加えることはできないかとの意見を受けた。
【◎決定事項】
→2025 年新年杯よりドロー表に『スタート時間 5 分前までに、指定のティイングエリ

アにて待機する事。』という注意書きを加える。

⑦　開場記念杯集計方法変更について

→古賀委員より開場記念杯の集計方法を現在のアンダーハンディ競技から新ペリア方式に変更してみてはどうかとの意見を受けた。

■⇒結論が出ないため、継続審議。5 月の委員会に持ち越し。

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2025 年 5 月 6 日（火）開催予定。

以上